

## 第72回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨

[ 平成25年度 第1回(定例) ]

日 時 平成25年4月21日(水) 15:00~16:30  
場 所 出雲キャンパス大会議室  
出席者 本田学長、小室委員  
[松江C] 山下(由)委員 岸本委員 名和田委員 鹿野委員  
[出雲C] 山下(一)委員 田中委員 吉川委員 齋藤委員  
[事務局] <松江C> 樋野事務室長 上代管理課長 古満教務学生課長  
<出雲C> 稲垣事務室長 青木管理課長 三谷教務学生課長  
欠席者 なし  
定足数確認後、規程に基づき学長が議長となり議事を進行した。

### [ 議 事 ]

#### 議題1 第71回教育研究評議会議事要旨の確認について

<資料1> 第71回島根県立大学短期大学部教育研究評議会議事要旨案  
学長から、あらかじめ配布した議事要旨について確認があり、承認された。

#### 議題2 理事長選考会議委員の選出について

<資料2> 理事長選考会議委員の選出について  
学長から、教育研究評議会委員の任期に合わせて選考委員会委員を速やかに選出したい旨提案があった。  
学長から適任者の推薦を求めたが、推薦がなかったため、学長から山下(由)委員(松江キャンパス担当)、山下(一)(出雲キャンパス担当)、小室委員(両キャンパス担当)の3名を選考委員として選出したい旨、提案があった。  
学長の提案を諮ったところ、異議なく承認された。

#### 議題3 客員教授採用の選考開始について

<資料3> 理事長選考会議委員の選出について  
学長から、4名の客員教授の採用に係る選考開始について発議があり、スケジュール等が承認された。

#### 議題4 「地(知)の拠点整備事業」について

<机上配付資料>COC事業への連携依頼

小室委員から、COC事業の目的や今後のスケジュールなどの概要について説明があった。

学長から、「教育」と「競争力」をキーワードとしたプラットフォーム構想を立てて、短期大学部と大学と共同で申請したい旨説明があった。

最終的な目的は、地域振興や地域再生である。具体的な事業内容が必要。人材を養成。新しいカリキュラムをどう構想する。教育組織を明らかにする。プラットフォームは推進組織であると同時に教育組織である。対象とする地域の明確化。石見地域での推進を中心としたい。出雲、松江は専門分野での協力。出雲では実践センターを中心とした教育を組み込む。松江では、リカレント教育の分野で連携を図ってこの事業に参加する。もうひとつ観光事業も重要観光振興に大学がどのように関われるのかこの事業に参加。どのような地域にするのかの視点も必要。目標や成果の評価体制も組み込む構想にしたい。

山下由 具体的なことができていない。地域貢献を高く評価されている。地連センターが担ってきた。研究研修センターとして有形のものにするのがいいのではないか。

山下一 地連の役割は大きくなる。看護の分野でも複合的な人材が求められている。実践支援センターが担おうとしている部分も多い。

区別をしていきたい。

齋藤 今までの経過がわからない。地連が中心となって構想を考えるが、センターも含むのか。AC期間なのでカリキュラムを変えることは困難。島根の地域医療を行うが、地域に疑問もある。

基本的なことは変わっていない。審査基準が明確になっている。それに答えていく。

カリキュラムも対応できるのではないか。

地域のとらえ方、まずは石見部が中心になるのではないか。臨床教授。医療に貢献できるような構想をイメージしている。

齋藤 今までやってきたことを体系化、窓口の一本化をセンターでやっている。教育が中心でウエイトが違うのではないか。

教育の比重が重くなる。

齋藤 資格がとれる、リカレント教育に視点を山雲と松江。センターとのからみ具合。重要な単位で矛盾するところはない。

吉川 地域をどこにするか気になる。石見の活性化に貢献するのかな？

そのように考えていただくと、特徴が際立ってくると思う。

齋藤 キャンパス毎にエリアが違っていいのか。

今後整理しなければならない。対象地域は明確にしなければならない。山雲や隠岐はどうするのか考えていかなければならない。

鹿野 島根大学との違いを考えているのか？

島大は、全県を対象にする。

鹿野 島大は県、県大は、石見ではなく島根にしないのかな。

島大を意識せざるを得ない。地域の問題は石見の方が典型的に出ている。構想の特色を明確化できるのではないかな。

鹿野 石見に学生を連れていることも大変。出雲の中山間地を対象にも入れて欲しい。全県下とした場合には、特色を明確にできないおそれがある。

山下由 少子高齢化の活性化を数値化。石見部の実態を全国に伝えることは難しいのではないかな。松江市との協議はどのようなものと考えているのか。

なかなか悩ましいものもある。主に観光振興を考えている。石見部にも波及する取り組みでの協力。

石見部は栄養問題も課題になっている。遠隔地なので、難しい面もある。本当に取り組んでいく地域ではあるが、課題が大きすぎる面がある。石見を連れて歩くのは年1回が精一杯。連携して何かするという事はまだ

バス借り上げにも対応できると思われる。

山下由 資材を整えたり、バス借り上げを整えたりして、整備はできるのでしょうか。事業終了後のことも考えておく必要がある。

さらに3キャンパスに参加していただいて、19日に担当者が各キャンパスを訪問するので、意見交換をしてほしい。

岸本 地連との関係を整理してほしい。地連は精一杯仕事している。

学長 提案して欲しい。状況として出して欲しい。

事務局長 県庁には、島根大学から説明があった。高専も申請に向けて動いている。県でも場合によっては調整がかかるかもしれない。

## 【報告事項】

### 報告1 平成25年度公立大学法人島根県立大学重点項目について

<資料4>平成25年度公立大学法人島根県立大学 重点項目

小室委員から、前回の教育研究評議会で示した重点項目からの変更点について説明があった。項目数は14項目で変更はないが、とりまとめ区分を若干変更したと報告があった。

## 【その他】

### ○留学生交流支援制度（短期派遣）の採択について

<資料>平成25年度留学生交流支援制度（短期派遣）の採択について

稲垣室長から、日本学生支援機構の留学生交流支援制度（短期派遣）に申請した結果、出雲キャンパス分が採択となった旨、情報提供があった。

○ 次回開催について

今回は、5月15日（水）15時～ 松江キャンパスとの確認があった。